

平成17年度

応募件数 21件 助成件数 7件

団体名	所在地	活動内容の概要
都市環境デザイン会議北海道ブロック 代表幹事 柳田良造	札幌市	北海道美しい地域環境（都市・田園）ランキング評価調査事業 地域での景観まちづくりを考える基礎情報として、北海道の都市・田園を「美しい」という面で共通の尺度となる評価基準を作成し、現地調査して、評価ランキングを行う。他地域の調査との比較や景観シンポジウムの開催により、北海道の各都市、農村の「美しさ」、「環境の魅力」の特色を浮かびあがらせる。
みかさ・炭鉱の記憶再生塾 代表 伊佐治知子	三笠市	炭鉱遺産を活用した市民による公園づくり市民が主体となって、海外有識者や地域外専門家と直結して活動を続けており、公園の基本的な施設（園路・安全対策）とともに、来訪者の知識充足に貢献するインフォメーション機能を整備する。
港と街を繋ぐ会 舩（もやい） 代表 米花正浩	小樽市	「港」を生かしたまちづくりを目指すシンポジウムの開催。 既存の市民団体、観光組織等と連携し、「港」を生かした都市再生やみなとまちづくりを考えるシンポジウムを開催する。小樽港の魅力や観光ポテンシャルなどについてパネルディスカッションを行うとともに、会場にはみなとまちづくり活動を啓発する写真パネル展を併設し、草の根の支援者の裾野を広げる。さらに、シンポジウムの結果を広報誌としてまとめ、駅や公共施設等に置き市民への啓蒙につなげてゆく。
ふらのスノーフェスティバル実行委員会 会長 黒岩岳雄	富良野市	シーニックバイウェイ景観形成「ふらの冬のライトアップキャンペーン」 富良野地域の特性を生かした、雪の造形物と光が織りなす景観をテーマに、デザイナーや建築家などのデザインコンペ（10基程度）と生活空間（スノードーム）に「バル（スペイン語、BAR）」を開設することにより冬の生活を体験する。また、国道から会場までの沿道に、ウエルカムゲートやスノーライトアップ・スノーキャンドルなどを設営、会場までの道程を快適な演出を行うことにより、観光客の交流を推進し郷土意識の醸成まちづくりにつなげる。
特定非営利活動法人しもかわ観光協会 代表 谷 一之	下川町	日本最北の手延べ麵の里づくり事業 下川町の特産品と空き家を活かしたまちづくりの推進。空き家を利用した下川町のビジターセンター設置と、センター内で手延べ麵に特化した料理の提供や歴史、技術、手延べ体験もできる施設の運営を行い、地域の商業振興と交流人口の促進と受入体制の整備を行う。
酪農家集団A B - M O B I T 代表 伊藤泰通	根室市	AB - MOB I T交流・体験施設（屯灯館）整備事業 自らの足で風景や地形の変化を感じながら道を歩くことで酪農業、農村を理解してもらおうフットパスコースの整備を行っているが、併せてフットパスコース起点に、現在使用していない牛舎を利用した木工・金属加工体験工房、歴史資料展示室を整備した拠点づくりを行う。これらの施設では木工体験、ファミリー体験プログラムを実施するほか、地域の歴史を紹介し、フットパスと併せて都市住民との交流を行うほか、地域内の交流、さらには地域活性化につなげていく。
N P O ひがし大雪アーチ橋友の会 代表 坂本徳寧	上士幌町	国鉄士幌線跡・旧幌加駅復活事業 士幌線・旧幌加駅を鉄道があった時の原風景を再現し駅名標、案内板を設置、郷土の歴史遺産として残すとともに、来訪者に地域の歴史を説明、その魅力をPRしていく。